

おもちゃ 探検隊が行く!

Vol
03

往年の名レースが1/24で蘇る!? スロットカーってこんなに楽しい

クルマにまつわるさまざまなホビーを紹介している当コーナー。今月は長い歴史を誇る「スロットカー」に挑戦してきました。ステアリングならぬガングリップタイプのリモコンを握ったのは、女性モータージャーナリストのフジモこと藤島知子。伝説的な名ドライバーを相手に、いったいどんな走りを見せたのか?

PHOTO: Takamasa MIYAKOSHI (宮越孝政) TEXT: Tomoko FUJISHIMA (藤島知子)
取材協力: モデルカー・レーシング・グランチャンピオン・ファンクラブ
<http://www.diana.dti.ne.jp/slotcar/>

2009.M.F.C. ゲストレース Vol.2

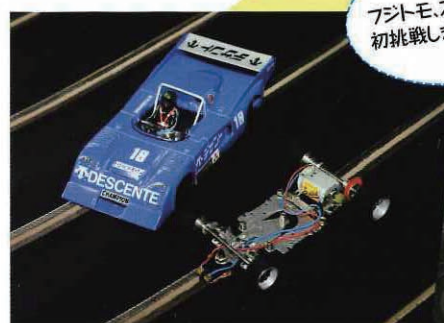
順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	総合 ラップ数
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

レースは3分間×6本で行われました。ちなみに、もっとも若輩者の私フジモは、見事にピリの座をゲット。いまだに超人的感性をお持ちのゲストドライバーの皆様には、到底敵いませんでした(涙)。

接触しても大丈夫なレジンボディだけど……



今回、私がお借りして走らせたマシンは72年式ロンソン2000。今回、M.F.C.のチェアマン田村さんがオリジナルで制作してくださった逸品。赤のカラーリングがひととき目立っていてステキ。



フジモ、スロットカーに初挑戦します!



使われるマシンは実車の1/24スケールが一般的。レーンに流れる電気を銅線で拾って、モーターを駆動させて走るので、コースに応じてギアを変えると走りの特性も変わるそうだ。

Special Guests

日本のレース史を彩った名ドライバーたちが集結

寺田陽次郎

昨年は優勝、今回はアクシデントに巻き込まれて不運だったという寺田さん。「スロイン・ファーストアウトが基本」とご指導いただきました。



Yojiro Terada

柳田春人

唯一のハコ車。72年式フェアレディ240Zを操っていた柳田さん。「このマシン、貰えるの? (笑)」と、すっかりスロットカーに夢中のご様子でした。



Haruhito Yanagida

Masahiro Hasemi



長谷見昌弘

見事に優勝して「こういうのは何年ぶりだろう」と嬉しそうな長谷見さん。それでも「17周完走まであと2メートルだったのに!」と悔しげでした。



福士克二

富士モータースポーツクラブ理事の福士克二さん。長らく日本のモータースポーツを見守ってきた功労者は、スロットカーもスムーズに走らせていました。

「フジモさん、スロットカーにチャレンジしてみませんか?」
ジェイズ編集部から突然にこんなお誘いを受けて、スロットカー・サーキットの「レーシングパラダイス世田谷」にやってきました。ところが、会場に入ると妙にザワついてる様子。それもそのはず、この日、会場に集まっていたのは泣く子も黙る往年の名ドライバーたち。この日は皆さまゲストでの参加だったので、スロットカーといえどレースは決戦の場。いつのまにか現役当時さながらの鋭い目つきに変わり、会場は大盛り上がり。対戦表の端っこに名前を並べさせて頂いた私、ききぎ緊張して、手が震えそうであります。

今回のレースで面白いのは、ゲストドライバーの皆様が、かつて実際のレースでステアリングを握ったマシン走らせたところ。例えば、長谷見昌弘さん
日本のレース史に名を刻むドライバーをも熱中させるスロットカーレースの世界。まさに、クルマ好きにはあなどれないホビーのひとつ。フジモ、次回必ずリベンジします!

は77年のシェブロンB36で、柳田春人さんが72年の240Zを走らせているといった具合です。
いよいよ、マシンをコース上のレーンにはめ込んで、3分間の一本勝負がスタート。専用トリガーのスイッチをアクセル代わりに操作して、車速を調整しながら走らせますが、オーバースピードでコーナーを曲がり切れないとアツという間にコースアウト! 私がタイムロスを重ねてへ口へ口と走っているのを横目に、皆様はレーンの位置によってスロットルの操りかたが異なるシビアなコントロールを見事にこなし、お互いを牽制し合いながら、見事な攻めを披露してくださいました。